

年度日野市立日野第一中学校経営重点計画自己評価シート

令和5年3月公表

★学校教育|自ら考え学び続ける人協力し全体に尽くす人心豊かで思いやりのある人

★重点計画の概要

1 体を育てる力の向上2 豊かな人間性の育成3 学ぶ力の定着4 安全・安心

★目指す学校像（ビジョン）

【めざす児童・生徒像】基本的な生活習慣を身に付け、健康に生活しようとする生徒、挨拶ができ、思いやりをもって皆と感動しようとする生徒、自ら学び、問題を解決しようとする生徒、郷土を愛する心をもつ生徒

【めざす学校像】屈託のない笑顔の見える学校

【めざす教師像】生徒の見本となる教員

領域	中期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準				学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策
			評価点	取組指標	評価点	成果指標		
育ち	体を育てる力の向上	・部活動の充実を図り、生徒の積極的な運動への取組みを推進し、体を育てる力の向上を図る。	2	4 体を育てる取組みや部活動によく取り組んだ教員が80%以上	3	4 運動を頑張り、体が強くなった生徒が85%以上	・中学校生活で一番の思い出となる部活動が盛んな一中で、子供たちはそれぞれに自分の力を伸ばし成果を上げていると思う。 ・部活動を指導できる方が活動できる環境を整えれば、子供のもっと上手になりたい・強くなりたいが実現することにつながると思う。指導者がいなかったり、指導者に負担が大きいと=指導実現出来ない=子供が夢を諦めることにつながると思う。 ・学校が健全である指標に、挨拶や部活が盛んである、学校行事が盛り上がっていることがあると常々思っています。1中はこれらが備わっており、部活も休日返上で子供たちを成長に導いていただき、大変ありがたいことと思います。 ・運動が苦手な生徒にも「機会」を増加させるにはウォーキングやダンスなどレクリエーションを織り交ぜて楽しく体が動かせる企画があればよいと感じました。	・部活動や体育の授業で頑張った生徒が多かった。 ・今後は、体力強化週間を設置して放課後に10分間走を行うなど、運動部に入っていない生徒も自主的に参加できる活動を行い、さらなる体力向上を図る。
				3 体を育てる取組みや部活動によく取り組んだ教員が70%以上		3 運動を頑張り、体が強くなった生徒が80%以上		
				② 体を育てる取組みや部活動によく取り組んだ教員が60%以上		② 運動を頑張り、体が強くなった生徒が75%以上		
				1 体を育てる取組みや部活動によく取り組んだ教員が60%未満		1 運動を頑張り、体が強くなった生徒が75%未満		
学び	学ぶ力の定着	・GIGAスクール研究プロジェクトを実施し、授業中の調べ学習や対話的な学習等にタブレットPC等を積極的に活用し、創造的な活動を行い、思考力等を高める。 ・新たな学習指導及び学習評価について、定期テスト及び学期末に教員面接を行い主体的・対話的で深い学びの授業実施に向けた指導力向上を図り、授業が分かる生徒を90%以上にする。	4	④ 研修等を通して、授業力が高まり、分かりやすい授業が行えた教員が90%以上	1	4 授業の内容がよく分かると感じた生徒が94%以上	・取組指標の評価が4、成果指標の評価が1なので、課題を明らかにしていく必要がありますね。 ・PCを活用した授業は生徒たちにとって取り組みやすく、学習意識も興味も高まっていくと思う。 ・先生の教え方や話に興味を持てると苦手意識のある教科の授業でも聞こう・見よう・考えようと子供たちはしてくるようになる。 ・予測不能なVUCA時代になっていきます。今よりなお深く考え、深く理解し、自ら課題を抽出し、課題解決に向けた取り組みが出来る人材が必要です。何よりも「深く考えること」を日々の授業の中にも含めていただければ、期待する効果も多岐に渡るものと考えます。 ・研究発表に参画させていただき、様々な授業でICT機器を活用されていて、素晴らしいと思いました。	・成果指標の設定が高すぎた。 ・定期テスト毎に研修し、授業改善を図った。全教員が研究授業を行い、授業改善を進めた。 ・今後は、生徒理解について研修を進めるとともに、生徒からの授業評価を行い、改善を進めていく。
				3 研修等を通して、授業力が高まり、分かりやすい授業が行えた教員が85%以上		3 授業の内容がよく分かると感じた生徒92%上		
				2 研修等を通して、授業力が高まり、分かりやすい授業が行えた教員が80%以上		2 授業の内容がよく分かると感じた生徒が90%以上		
				1 研修等を通して、授業力が高まり、分かりやすい授業が行えた教員が80%未満		① 授業の内容がよく分かると感じた生徒が90%未満		
学び	学ぶ力の定着	・毎朝の朝学習の他、期末テスト対策講座をはじめ、生徒が自学自習を進められるよう放課後に自学自習のできる環境を整え、自ら学習する校風を醸成する。	4	④ 生徒の学習意欲を育み、自主的に取り組む生徒を増やせた教員が60%以上	1	4 自主的な学習に取り組み、学力が高まった生徒が90%以上	・取組指標の評価が4、成果指標の評価が1なので、課題を明らかにしていく必要がありますね。 ・自習学習を生徒が自ら行動できるよう、環境づくりをすることによって主体的に行動していくという姿勢をとっていかねば、学校・社会においても自覚を育てる第一歩と考えています。 ・環境を変えて取り組むことができることは、生徒のON/OFFがしっかりし、メリハリをもって学習に向き合えるようにもなります。保護者を含めサポート体制が大変ですが、引き続きよろしくお願ひします。 ・期末テスト対策はボランティア募集時、ご自身のお子さんが利用しているので、参加するという事を聞きました。保護者の関りにも影響があり、良い活動と感じました。	・成果指標の設定が高すぎた。 ・タブレットを活用し、調べ学習やグループ学習、振り返りなど主体的な学習を進めて来たが、自主的な学習について、生徒の意識が低い。 ・今後は、自習教室を平日放課後週2～3回、実施し、自主的に自学自習を行う環境をつくり、学力を高めていく。
				3 生徒の学習意欲を育み、自主的に取り組む生徒を増やせた教員が50%以上		3 自主的な学習に取り組み、学力が高まった生徒が88%以上		
				2 生徒の学習意欲を育み、自主的に取り組む生徒を増やせた教員が40%以上		2 自主的な学習に取り組み、学力が高まった生徒が85%以上		
				1 生徒の学習意欲を育み、自主的に取り組む生徒を増やせた教員が40%未満		① 自主的な学習に取り組み、学力が高まった生徒が85%未満		
いのち	豊かな人間性の育成	・生徒が協力して取り組み、感動する行事を実施し、所属感・連帯感を高める。	1	4 体育祭・合唱祭等の行事で生徒の所属感・連帯感を高めた教員が100%以上	4	④ 体育祭・合唱祭等の行事に参加し所属感・連帯感が高まった生徒が85%以上	・所属感・連帯感を高まったと思う生徒が92.1%なのは、素晴らしいです。 ・長いコロナ禍での環境でやっと普段の生活を取り戻しつつある中、今年の体育祭では、オープンな雰囲気の中、生徒達の躍動的で楽しそうな姿が見れ、元気な声を聞くことができた。 ・特に運動会は、学年関係なく協力し合い、そのお陰で色々な人と知り合う機会も出来、練習期間から本番まで人間関係をつくり上げられる貴重な時間を持てたと思う。そして、その後も続いている。 ・生徒間での学び合い、話し合い、人の意見を聞くなど、自分の主張もできる関係の在り方にこそ連帯感は生まれる。大事な行事と考えます。	・コロナ禍で、制限はあったものの、実施方法を工夫して運動会と合唱コンクールを行うことができ、生徒の結果が高かった。
				3 体育祭・合唱祭等の行事で生徒の所属感・連帯感を高めた教員が95%以上		3 体育祭・合唱祭等の行事に参加し所属感・連帯感が高まった生徒が75%以上		
				2 体育祭・合唱祭等の行事で生徒の所属感・連帯感を高めた教員が90%以上		2 体育祭・合唱祭等の行事に参加し所属感・連帯感が高まった生徒が65%以上		
				① 体育祭・合唱祭等の行事で生徒の所属感・連帯感を高めた教員が90%未満		1 体育祭・合唱祭等の行事に参加し所属感・連帯感が高まった生徒が65%未満		
いのち	豊かな人間性の育成	・職場体験や報告会などにおいて、地域の方との意見交換を行い、望ましい社会性や勤労観・職業観を育てる。 ・保護者と教員の交流の推進を行い、地域の一員としての誇りをもたせる。	2	4 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員が90%以上	2	4 地域の方と交流を行い、自分の成長につながった生徒が90%以上	・職場体験は3年ぶりに行うことができた。 ・がん教育、命の授業、保護司からの授業など3学期に実施するものが多い。 ・今後は、保護者ボランティアとの校内美化活動などを進め、ボランティア精神を育み、共に学校への愛着を育んでいく。	
				3 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員が85%以上		3 地域の方と交流を行い、自分の成長につながった生徒が80%以上		
				② 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員が80%以上		② 地域の方と交流を行い、自分の成長につながった生徒が50%以上		
				1 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員が80%未満		1 地域の方と交流を行い、自分の成長につながった生徒が50%未満		
いのち	豊かな人間性の育成	・学校危機管理マニュアルを刷新するとともに、避難訓練を工夫して、自分のことを守る力を育成する。また、地域の方と連携した防災訓練を企画し、地域の方を助ける力を育成する。	3	4 避難訓練などの取組を通して、生徒の自助・共助の意識を高めた教員が90%以上	3	4 避難訓練などの取組を通して、自助・共助の意識が高まった生徒が90%以上	・これからの時代、自助・共助の意識を高めていくことは、大切なことだと思います。 ・校内での防災訓練は定期的に行われていると思うが、地域と連携することをこれから積極的に計画してほしい。地域の一人暮らしの方、病気等で避難できない方など地域のことを知っていれば、いざという時に気が付いて周りの大人と行動することができるともかもしれない。 ・福島浪江地区の請戸小学校の児童たちが山へ向かう時の言葉掛けや先生たちの力や支援、お年寄りの手助けなど、ぜひ生徒さんたちに伝えたいものです。 ・起こり得る首都直下型地震を想定し、学校預かり中の被災と休日の場合の2局面においてシュミレーションし、保護者へ事前にお願ひすることの洗い出しが必要と考えます。	・休み時間中の地震に対する避難訓練や、防災訓練で保護者への安否確認や休校になった際のオンライン授業など、実践的な訓練を行った。
				③ 避難訓練などの取組を通して、生徒の自助・共助の意識を高めた教員が80%以上		③ 避難訓練などの取組を通して、自助・共助の意識が高まった生徒が80%以上		
				2 避難訓練などの取組を通して、生徒の自助・共助の意識を高めた教員が70%以上		2 避難訓練などの取組を通して、自助・共助の意識が高まった生徒が70%以上		
				1 避難訓練などの取組を通して、生徒の自助・共助の意識を高めた教員が70%未満		1 避難訓練などの取組を通して、自助・共助の意識が高まった生徒が70%未満		
安全・安心	安全・安心の推進	・特別支援教育コーディネーターを中心に教育相談部会を毎週開催し、学校に来られない生徒等に対しての適切な対応を検討する。 ・ステップ教室・リソース教室を活用した別室学習支援や保健室・スクールカウンセラーの相談などの個別指導を充実させる。 ・わかば教室、エール及びスクールソーシャルワーカーなどと連携し、支援体制を充実させる。	2	4 個別の学習やスクールカウンセラーなどとの連携を行い、支援の充実をした教員が95%以上	2	4 ステップ教室等や保健室等の相談など、個別の支援が充実していると感じた生徒が85%以上	・相談部会を毎週開催し、不登校傾向等のある生徒について、共通理解を図り対応を進めた。 ・今後は、教室に入れない生徒の居場所として登校支援教室を週2回に拡大し、学校との接点を増やし学校生活になじませる。また、オンライン授業を推進する。	
				3 個別の学習やスクールカウンセラーなどとの連携を行い、支援の充実をした教員が90%以上		3 ステップ教室等や保健室等の相談など、個別の支援が充実していると感じた生徒が80%以上		
				② 個別の学習やスクールカウンセラーなどとの連携を行い、支援の充実をした教員が80%以上		② ステップ教室等や保健室等の相談など、個別の支援が充実していると感じた生徒が75%以上		
				1 個別の学習やスクールカウンセラーなどとの連携を行い、支援の充実をした教員が80%未満		1 ステップ教室等や保健室等の相談など、個別の支援が充実していると感じた生徒が70%未満		
安全・安心	安全・安心の推進	・学校いじめ対策委員会を中心に、いじめの防止・早期発見・早期解決を図るとともに、生徒自らが、いじめを絶対に許さない環境を醸成する活動を推進する。	2	4 「いじめ」や人間関係のトラブル等、悩みや相談に親身になって応じている教員が95%以上	2	4 先生方は「いじめ」や人間関係のトラブル等、悩みや相談に親身になって応じていると感じた生徒が90%以上	・いじめについては、校内で定期的なアンケート調査があり、個別対応も早期段階でなされているとの事、校内での対処が決め手なので、これからも生徒の安全で安心な学校生活が遅れることを願う。 ・先生方に「いじめ」や人間関係のトラブル等、悩みや相談に親身になって応じていると感じた生徒が88%以上 ・先生に言えない場合も多い（言い易い、言いにくいなど）。友達に言う子もいたり、親にも話してくれる場合、その子その子による。様々な方面に受入れ（聞く体制・話せると感じさせるなどの）体制があったらと思う。 ・1中のいじめアンケートではたくさんの生徒が救われてきたものと思います。生徒がこの大事さを理解し、日々アラートを知らせて頂く校風が築かれることを期待いたします。	・相談部会を毎週開催し、各クラスの生徒の状況について詳しく情報共有し、SSW、SCと連携してきめ細かく対応を行った。また、相談フォームを活用し、生徒からの相談を丁寧に行った。 ・今後は保護者との連携を図り、いじめの件数を減らしていく。
				3 「いじめ」や人間関係のトラブル等、丁寧に寄り添う指導を行う教員が90%以上		3 先生方は「いじめ」や人間関係のトラブル等、悩みや相談に親身になって応じていると感じた生徒が88%以上		
				② 「いじめ」や人間関係のトラブル等、丁寧に寄り添う指導を行う教員が80%以上		② 先生方は「いじめ」や人間関係のトラブル等、悩みや相談に親身になって応じていると感じた生徒が85%以上		
				1 「いじめ」や人間関係のトラブル等、丁寧に寄り添う指導を行う教員が80%未満		1 先生方は「いじめ」や人間関係のトラブル等、悩みや相談に親身になって応じていると感じた生徒が85%未満		